



コロナ禍でお休みしていたGrad Clubのオーストラリア研修を、今年4年ぶりに開催することができました! 研修先はクイーンズランド州ブリスベン北側のサンシャインコーストというエリア。現地では地元の学校に通い、同世代のオーストラリアのお友達と一緒に活動をしたり授業に参加しました。



学校では色々な科目の授業を受け、中にはスーパーマーケットを想定したお金の勉強もありました。日本の文化を教える交流会では、現地の生徒の名前をカタカナで教えてあげたり、一緒にゲームをしたり折り紙を教えてあげたり、多くの生徒たちと交流することができました。どの生徒もバディと過ごす休み時間が楽しいようで、チャイムと同時にランチボックスを持って外へ飛び出し、カードゲームやスポーツをしたり、一緒に座って話したりしていました。週末はホストファミリーと一緒に過ごし、海で釣りをしたり、自宅のプールで泳いだりと休日を満喫。中高生の生徒は近くの町のNoosalに行ったり、田舎の方のホストファミリーのお家の生徒は農場で牛などに触れ合う機会もあったようです!!



R.G.くん[G4/京都校卒]

ホームステイでは、日本の家にはあまりないバックヤード(大きな裏庭)があって、そこでいろんなことをしたことが一番印象に残っています。学校のことはバディが教えてくれましたが、オーストラリアには掃除の時間がなく、登下校の際は毎日親が車で送り迎えをするなど、日本の学校と全然違うと思いました。英語については、“Pardon?”とか“Ta”など、これまでは知らなかった言葉遣いも知ることができました。このオーストラリア研修で、今まで以上に英語力がアップしたと思います。現地の学校に通えることは本当に良い経験になるので、Gradのお友達にもオーストラリア研修を勧めたいです。



ホストファミリーの方には家族の一員として迎えていただき、週末にキャンプやParkに連れて行ったもらったことが良い経験になったようです。オーストラリアの小学校は日本より自由度が高くのびのびと過ごせたことから、海外に留学したいと思ったり、帰国後はさらに英語の勉強に力を入れています。スタッフの皆さんが手厚く子どもを見てくださり、本当に良かったです。



みんながとても楽しみにしていたサーフィン体験では、まずは道具についての説明や、どのようにして波に乗るか、波に巻かれた時はどう自分を守るかレクチャーを受けてから実際に挑戦! スタッフの方の補助でなんとか波に乗りつつも立てずにこけたり、乗り切れずに波に飲まれたりと悪戦苦闘!! そのうちに少しずつ慣れて、立てるようになる生徒も出てきました。一度コツを掴むと簡単なようで、立てる生徒は何度も立てました!



オーストラリア特有の動物について調べる授業を受けてから見学したオーストラリアZooでは、実物を見られてとても興奮していた様子。コアラと触れ合う貴重な体験をし、一緒にコアラと写真も取りました!



16日間は目まぐるしく過ぎ、最終日には過ごしてきた写真のスライドを見て思い出を振り返り、ケーキを一緒に食べました。JHS/HSの生徒たちは、お別れの時間が近づくにつれ涙を見せる生徒もいました。日本に帰国できる喜びよりも「もっと長く居たかった...」「寂しい」と涙する姿は、彼らがどれだけ充実した時間を過ごしたかを物語っていました。



グラッドクラブ 出口 紗衣香

日本を出発した機内では、CAさんに流暢な英語を披露して英語力の高さに驚かせる場面もありましたが、日本人である私に対しては英語で話しかけても日本語で返してくることも多くありました。ところがホストファミリー宅で一夜を過ごした翌朝の学校ではすっかり英語で返すようになり、たった1晩でこれほど英語に切り替えできるのか!と感動しました。また特に英語力が中程度の生徒が、滞在中に大幅に英語力を伸ばすことも印象的でした。序盤でホームシックだった子どもたちも、後半は自信に満ちた、たくましい表情に変わっていくのを近くでみることができ、改めてオーストラリア研修の意義を実感いたしました。催行可否が分からず、規制と条件に悩まされながらも、参加してくれた生徒や私たちを信頼し、大切なお子様を預けてくださった保護者の皆様により感謝いたします。来年以降も毎年より良いプログラムにするため、今後とも全力で取り組みます。



グラッドクラブ マシュー・ホーン

多くのホストファミリーから、グラッドクラブ生の高い英語レベルや礼儀正しさに感心の声を頂きました。特に小学生は、ホストファミリーが予想していた英語力よりレベルがずっと高く、非常に良い関係を築くことができていたようです。私は今回初めてのオーストラリア研修に参加しましたが、生徒たちは学校生活とサーフレッスンなどの遠足を通して、オーストラリアの文化や生活を楽しみながら経験することができたと思います。大勢の生徒を海外に連れて行くのは簡単ではありませんが、しっかり指示を聞き、行動する子どもたちと絆を深めながら過ごした16日間はかけがえのないものとなりました。このオーストラリア研修を通して生徒たちは勉強するだけの英語ではなく、様々な国の人と繋がり、文化を学ぶことのできる一つのツールだと実感できたでしょう。また、高学年の生徒の中には将来の勉強や進路の選択肢に無限の可能性を見出した生徒もいるようです。



2024年度オーストラリア研修説明会を開催!
詳しくは Grad+ にてご確認ください...

